

# 令和7年度 「育ちと学びをつなぐ」 幼保小協働推進事業報告



# 報告内容

①神石高原町の取組体制

②幼保小連携・接続の視点を踏まえた園・所・小学校の保育・授業  
の好事例

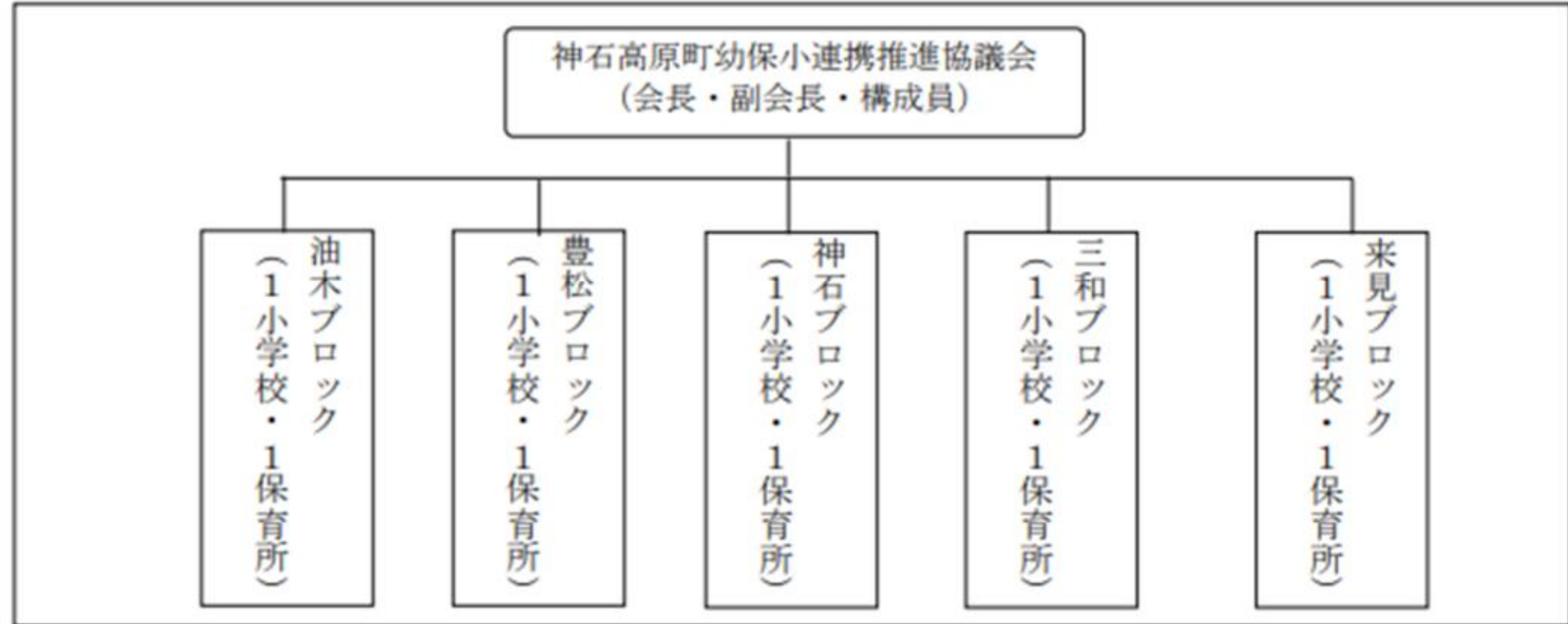
- ・来見ブロック
- ・三和ブロック
- ・神石ブロック
- ・豊松ブロック
- ・油木ブロック

③町としての成果



# 神石高原町の取組体制

(3) 幼保小連携協議会組織図



# 来見ブロックの好事例 ～資質・能力の伸長～

- ・つきたい力  
「やりぬく力」を設定
- ・1・2年生複式授業  
図画工作科で協働作業  
を設定
- ・低学年児童と年長児で  
「教え合い」  
→達成感・自己有用感



# 三和ブロックの好事例 ～異年齢交流～

- つけたい力  
「人と関わる力」を設定
- 図書委員会(4～6年)  
が、保育所を訪問し、  
「読み聞かせ」を設定
- 幼児は、大きい学年と  
の交流の期待感、高学  
年児童は、相手意識  
の高まりの効果



# 神石ブロックの好事例 ～取組の継続性～

- つけたい力  
「言葉での伝え合い」を  
設定
- 生活科「なつとなかよし」で、水遊びの場を  
設定（2回実施）
- 1回目の反省点から、  
2回目を実施し、改善点  
を幼児児童に思考させる



# 豊松ブロックの好事例 ～地域との連携～

- つけたい力  
「言葉による伝え合い  
(よく聞く)」を設定
- 地域学校協働活動  
「豊サポ」に幼児児童が  
参加する場を設定
- 地域行事「豊松フェス  
タ」に出店する「紙飛行  
機体験」に合同リハー  
サルを実施



# 油木ブロックの好事例 ～教科との関連～

- つけたい力  
「やりぬく力(粘り強く)」  
を設定
- 1年生算数科授業を  
年長児が参観する場を  
設定
- 年長児に、小学校の見  
通しと、「数への関心」  
の芽生え



# 町としての成果 「教職員の連携」



神石ブロック



豊松ブロック



来見ブロック

# 町としての成果

## 「校区でめざす姿の共有」

- ・全ブロックごとに、「ブロック連携シート」を作成
- ・ブロックの幼児児童の姿から、「幼保小連携で目指す姿(つけたい力)」を設定
- ・「つけたい力」を付けるための取組を協議し、設定する
- ・(これから)設定した取組を、カリキュラムに落とし込む。

(神石高原町幼保小連携推進協議会)

### ブロック連携シート

【 未見 】ブロック

1 ブロック内の幼児児童の幼児期の終わりまでによく育っている姿

乳幼児センターが示す10の姿	幼児児童の具体的な姿
健康な心と体	休憩時間にはよく外で遊んでいる。
思考力の芽生え	遊びを工夫したり生活の工夫をしたりしている

2 ブロック内の児童幼児の幼児期の終わりまでに課題となっている姿

乳幼児センターが示す10の姿	幼児児童の具体的な姿
自立心	すぐ先生をたよる。自信がない。 困ったことを発信したり言葉で伝えたりすることが苦手。

↓

3 幼保小連携で目指す姿

重点的に育成する姿	目指す幼児期の終わりまでに育てたい姿
やりぬく力	失敗してもチャレンジする姿

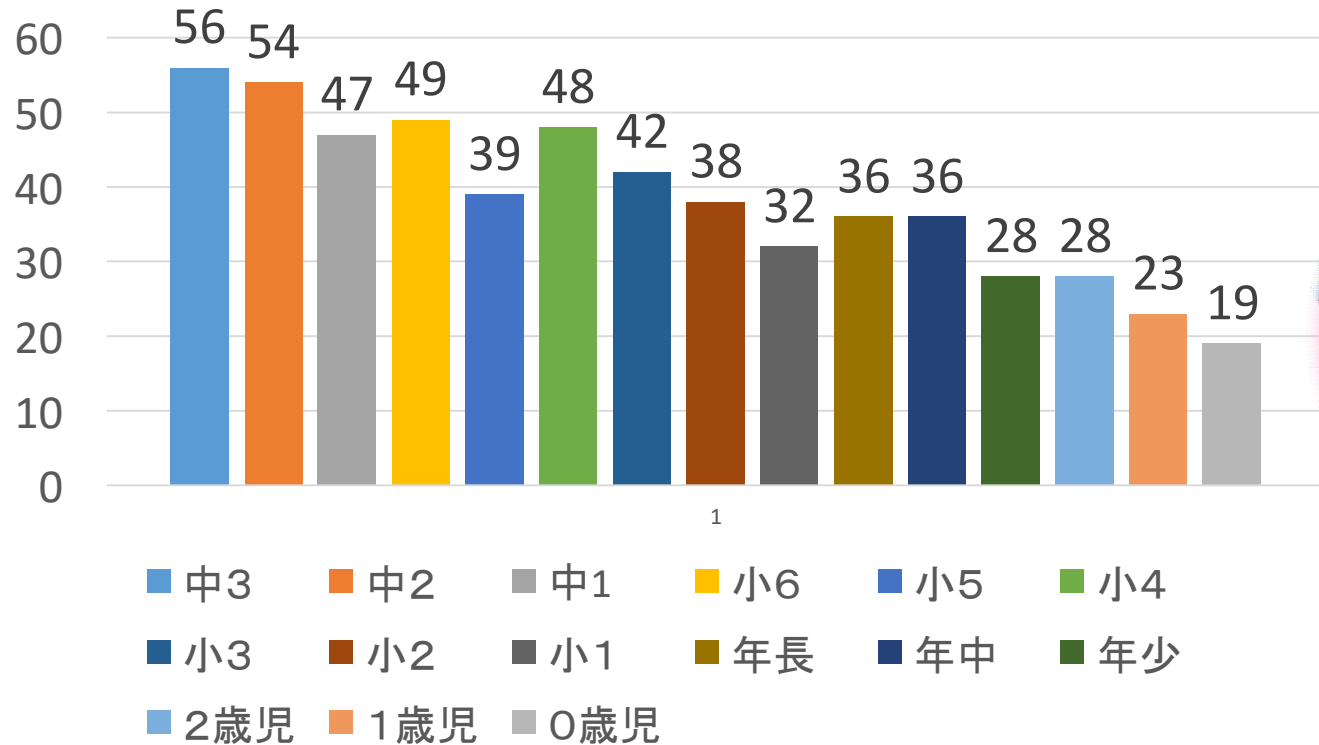
↓

4 目指す姿を実現するための取組

取組内容
ようこそ1・2年生:うまく伝わらなくても工夫してコミュニケーションをとらせる
園工作品作り:みんなで力を合わせて、失敗してもめげずに協同作品をつくる
体験入学:希望をもって入学できる内容を行う

# 神石高原町の今後の幼保小連携

## 神石高原町児童生徒数推移



ご清聴、ありがとうございました。